

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも	いい	わからな	ご意見
			いえない	え	い	
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・広すぎない空間が丁度良い。</li> <li>・様々な部屋があったりなど活動するにあたりきちんと確保されていると思う。</li> </ul>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの内股の治し方などの助言が私たちでは分からない事も知れたので適切だと思う。</li> <li>・とても専門性があり、子どもに対する対応の仕方などアドバイスして頂けるので助かる。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家では決してしない、靴を脱ぐ、直す、かばんを自分の棚に入れるなど導線がすごく分かりやすく工夫されているからこそだと思います、親として勉強になっている。</li> <li>・とても清潔で過ごしやすそうな環境なので安心して通わせることができる。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・何度か遊びに行かせていただいています、清潔感のある空間になっていると思う。子どもの毎日楽しそうに通所している。</li> </ul>
適切な支援	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望があれば都度相談できるのでしっかり作成できている。</li> <li>・その都度、私達の意向に合わせた支援計画を作っていただいている。</li> <li>・しっかりとアセスメントを行っていただけるので、的確な支援計画を作成してくださり、満足している。</li> </ul>
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生達の目から見て必要な支援だったり、親が達成してほしい事だったりなど、きちんと聴き取りもしていただきながら具体的に設定していただいていると思う。</li> </ul>

援 の 提 供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものペースに合わせた十分な支援をいただいている。</li> <li>・子どもの特性や課題をきちんと把握して的確な支援をさせている</li> </ul>	
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	5				<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な工夫をして一本化にならないように努力していただいている。</li> <li>・その時々課題に合った活動をして頂けるので助かる</li> </ul>	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1		2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソアラの小郡南校に行った話は聞きましたが、コロナ渦では交流も難しいと思うので、今のままで十分です。</li> <li>・幼稚園と連携を取って下さっているりで、きちんと情報共有ができて助かる。</li> </ul>	
保 護 者 へ の 説 明 等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	4	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・きちんと対面で教えて頂いた。</li> </ul>	
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソアラの小郡南校に行つた話は聞きましたが、コロナ渦では交流も難しいと思うので、今のままで十分です。</li> <li>・幼稚園と連携を取って下さっているりで、きちんと情報共有ができて</li> </ul>	4	1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学に伺った際に通所を決めたのでその時と後日詳しく説明して頂いた。</li> <li>・丁寧に説明して頂けていてとても分かりやすかった。</li> </ul>	
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	4			1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる点がある時などすぐに助言を頂いている。</li> </ul>
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					<ul style="list-style-type: none"> <li>・気になる点や改善策、課題の進め方など、分かりやすく教えて頂いている。</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の送迎時などに困りご事などちょっとしたことにも助言を頂けるので励みになる。</li> </ul>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	1	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの影響もあり開催できない状況だと理解している。</li> </ul>
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが事業所で遊んでいるおもちゃや接し方など詳しく早急に教えて頂けるので素晴らしいと思っています。</li> </ul>
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな時も早急な対応をして頂いている。</li> </ul>	
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FBに定期的にUPして頂いているのですごく有難いです。</li> </ul>	

	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4			1	・親である私以上に気を使っているあると見習うべき部分ばかりです。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	2	1		2	・子どものことばかりを聞いていたのであまり注聴していなかった。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			1	・イベントのプリントの部分に訓練の内容が毎日あり、きちんとされているという事が分かりやすい
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5				・家ではしない遊びをたくさん教えてもらい毎日すごく楽しそうです。
	23	事業所の支援に満足しているか	4	1			・子どもを大切に見守って下さり親にも温かく接して頂き満足している。

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター「こはな」の事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせで実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。